

勝山中学校区 保小中合同引渡訓練

1 目的と経緯

- ・実践的な場面を想定し、保小中合同の訓練を行うことで、「より安全で確実な引渡方法」について教職員、保護者、児童生徒一人ひとりが自分事として考える機会とする。
- ・勝山中学校区の小中学校及び保育所(勝山小、西浜小、富士豊茂小、勝山中、勝山保育所、足和田保育所、富士ヶ嶺保育所)において、同時に引渡訓練を行う。R3年度より実施(保育所合同はR5年度から)しており、今回は、河口湖北中学校区の引渡訓練も同日に行われた。

【連携機関】

富士山科学研究所 富士河口湖町教育センター 学校教育課 地域防災課 子育て支援課
勝山中学校区小中学校及び保育所

2 内容

- ・勝山中学校区において合同の引渡訓練を行った。小中学校及び保育所において同時に行うことで、実践的な訓練となった。当日は、富士山研、教育センター職員が学校での様子を観察し、今後の検証に繋げた。また、防災アプリや行政無線による連絡を地域防災課で行った。
- ・河口湖北中学校区の合同引渡訓練も同日に行い、教職員自身の引取の動きも検討するなど、より実践的な状況を想定した訓練を行った。
- ・事前には富士山研が中心となり、学校、教育センター、地域防災課で検討し引渡マニュアルの見直しを行った。また、災害時における報告表「小中学校→学校教育課、保育所→子育て支援課」の確認を行った。



3 成果と課題



- ・兄弟の関係で引渡箇所が複数になってしまう家庭でも、混乱や大幅な遅滞なく引渡ができた。継続して行ってきたことで、保護者の中でも意識が高まってきている。
- ・隣接する学区と同日に実施できたことにより、より広域的な訓練となった。また、引渡をする側である教職員自身の家庭内の役割を確認する機会にもなった。
- ・行政(学校教育課、地域防災課)への情報伝達の流れを再確認できた。
- ・訓練への慣れもあり、緊張感を持たせる工夫や形骸化を防ぐ方法を検討していく必要がある。